

助成事業名

いのちのつながりフェス事業（まちづくり助成2年目：性教育団体「いのちの授業」ここいく）

事業概要

フェスティバルを通して、一人一人違って大丈夫、自分らしく生きていいこと、いのちのつながりを感じ、楽しく性や人権を考えるきっかけをつくる。

実施内容

いのちを感じるスペシャルライブと
ワンオーガニックマルシェ開催（あすかホール）

開催日：令和6年9月16日（月・祝） 10時～16時
来場者：251人

1部「いのちのはじまり」 11時～12時

- 木歌 「いのちの歌」・「ボイスループ」
- ここいく「いのちのはじまりのお話」
- 絵本 「おへそのあな」
- 木歌 「ボクウマレタヨ」
- 出産の写真映像

2部「みんなちがってみんないい」 14時～15時

- 木歌 「WA」（歌詞を多様性）ショートバージョン
- ここいく「いのちの授業」性の多様性・グーチョキパーの歌
- 絵本 「みんな おなじ でも みんな ちがう」
- 木歌 「One」・「WA」フルバージョン

ワンオーガニックマルシェ 18団体出店



～*

事業成果

- 大人も子どもも、自分が生まれて来てよかった、いのちってすごいな、自分らしくていい、性について、いのちについて考える機会となれたと感じる。
- 100人の子産の写真、木歌さんの歌、和歌さんの絵本、それぞれの演出により効果的に伝わった。多くの方から、感動した、涙が出た、また観たいとの声が届いた。
- マルシェ出展者も参加者も全員でライブを楽しみ、最後は輪になりつながりを感じた。
- いのちの希少性、ひとりひとりが違っていいことを感じることで、自分を大切にすることが増える。
- 人と人とのつながりの心地よさを感じる人が増えることで、こうした活動を主体的に取り組む人の輪が生まれる。

収支報告

事業費総額 360,681円 / 助成金交付確定額 120,000円

助成経費内容

出演料、カメラマン謝礼、会場使用料、チラシデザイン料、チラシ印刷費、骨盤・胎児・子宮模型、チケット・看板製作費、事務消耗品、保険料